

連携協育に総力を結集



大分県PTA連合会
平成30年度
第70回 定期総会

平成30年度大分県PTA連合会定期総会が6月1日、広瀬勝貞大分県知事(代理後藤榮一県教育庁教育次長)をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の議員と被表彰者を含む約100名が出席して県教育会館で開催された。

近年、子どもたちを取り巻く環境が変化していく中、「地域の宝」が光り輝くために、家庭・学校・地域の連携をより一層強化することを宣言した。

安全・安心を守る

はじめに正田啓二県P連会長は「昨年10月に開催した日本PTA九州ブロック研究大会おおいだ大会では、素晴らしい評価を九州各地よりいただいた。会員の皆様の多大な



あいさつする正田県P連会長

ご支援とご協力に感謝したい。昨今、子どもたちが巻き込まれる事件や事故をみてもPTAは子どもたちの安全・安心を守っていかねばならない状況にある。登下校時の事故やインターネット被害等を含む事件が深刻・複雑化している。人間関係や地縁的なつながり

が希薄化、規範意識の低下が問題としてあるのではないかと。PTAの在り方、働き方改革などPTAを取り巻く新しい課題も生まれている。PTAは課題解決に向け、家庭教育充実のために保護者自身等の参加しやすい環境をつくること。先生方とコミュニケーションを図ること。異世代の地域の人々と関わり多様

支え合いはぐくむ

続いて、PTA活動に貢献した由布市立由布川小学校PTAほか2団体と分藤貴弘県P連副会長をはじめとする個人32名に表彰状、4名に感謝状が贈られた。

次は広瀬勝貞県知事(代理後藤榮一県教育庁教育次長)をはじめ、井上伸史大分県議会議長(代理濱田洋大分県議会議長)、工藤利明県教育庁教育課課長の来賓祝辞があった。

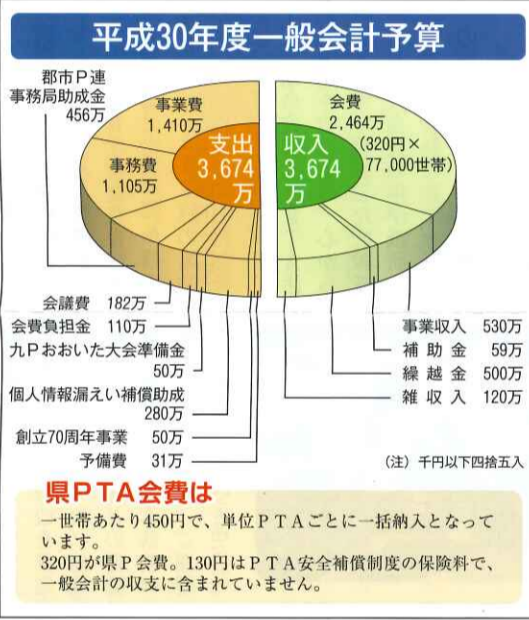
広瀬知事は「県では、基本理念に『生涯にわたり意欲を高める教育県大分の創造』を掲げ、大分県すべての子どもたちに未来を切り拓く力を身につけさせられる教育を推進している。また『子育て満足度日本一の実現』を目指し、社会全体で子育てを支える環境の整備に引き続き取り組む。県P連には家庭・学校・地域をつなぐ要として、県民総参加で子育てに取り組む大分県づくりをリードしてもらいたい」と祝辞を述べた。



正田会長と被表彰者の皆さん

平成30年度の主な行事

- ▼第11回県P全単位PTA 会長研修会 8月4日(土)
- ▼創立70周年記念式典 8月4日(土)
- ▼第66回日本PTA 全国研究大会 新潟大会 8月24日(金)～25日(土)
- ▼第63回日本PTA 九州ブロック研究大会 鹿児島大会 10月27日(土)
- ▼県PTA指定研究発表会 (平成29・30年度) 10月28日(日)
- ▼竹田市立都野中学校PTA (平成29・30年度) 11月11日(日)
- ▼宇佐市立四日市北小学校PTA 11月18日(日)
- ▼大分市立南大分小学校PTA 11月23日(金)
- ▼教育問題懇談会 11月9日(金)
- ▼第27回県PTA研究大会 別府市大会 1月27日(日)



県PTA会費は

一世帯あたり450円で、単位PTAごとに一括納入となっています。320円が県P会費。130円はPTA安全補償制度の保険料で、一般会計の収支に含まれていません。

発行所
大分市大字下郡496-38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055
責任者
正田啓二
印刷所
大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社

http://www.oita-pta.com/

2～3
広報紙コンクール
受賞校一覧

3
県P連幹部研修会

平成30年度の役員紹介

会長	正田 啓二	佐伯 市
副会長	横松 寛二	豊後高田市
理事	水江 泰彦	大分市
	大塚 俊夫	別府市
	梅田 浩司	杵築市
	田中 清照	国東市
	松下 貴宏	津久見市
	土師 勇治	由布市
	御手洗 英明	佐伯市
	渡邊 文彦	竹田市
	伊東 誠	豊後大野市
	河津 勇成	日田市
	日野 隆一郎	玖珠郡
監事	神田 やよい	大分市
	森 恵	宇佐市
会計監査委員	東 祐	大分市
	山田 昌弘	大分市
顧問	岩光 一郎	豊後高野町
	富永 大輔	大分市
相談役	池内 晴一	竹田市
	藤田 千克由	大分市
事務局長	濱地 京子	大分市

バスを待つ私の前を行ったり来たり一寸も動きを止めない元気な子。その姿に見とれていると向こうからバスの姿。バスを見つけた女の子は私を招き先に乗るようにと促す。バスが終点につくと、素早く立ち上がったかの女は空間を作り、いち早く降り立って、私が降りて来るのを確かめるとさも安心したかのように会釈する▼大人にも勝るその細やかな心くぼりに感動した私は思わず声をかけていた。かの女は小学校を卒業したばかり、中学校の勉強のためにと母親に頼み、塾に通いはじめたばかりだと言ふ。心のもったく礼儀正しいその行動に再度感謝すると、かの女ははにかみ私を気づかすてくれる▼私はこの心くぼりに対し私の喜びを形にしたいと考えた。かの女に私の事を話し、感謝の気持ちを、ささやかな形にしたいと提案した。かの女ははにかみながら「小さなものを」と応じてくれた。女の子へのプレゼントだと気付いた店員さんの対応もまた見事なものであった。かの女にとってはさりげない行動であったのかも知れない。けれどそれが、どれ程人の心を揺さぶり感動させたか、それを知ってほしい。誰かに対して「ありがとう」という気持ちをきちんと表したい。プレゼントでなくとも、自分の感謝や好意を確実に伝える術を探し、勇気を持って実行すること大切だと思ふ▼「あのときはありがとう」とお互いに言い合える人を作る、すてきなことだ。これも今日一日を豊かにする生き方。こんな勇気のふるい方も考えてみませんか。

小野 京子

佐伯市立鶴谷中学校育友会『夢つるや』

県知事賞受賞



「保護者が今、何をを知りたいのか」委員相互の思いをひとつにした広報紙『夢つるや』

第41回大分県PTA広報紙コンクール表彰式が4月17日に県教育会館で開催された。県内の小中学校PTA・育友会から112点の応募があり、38点が受賞した。

表彰式では来賓・受賞校の代表者約70名が出席する中、正田啓二県P連会長が「いづれも優れた内容の力作揃い。広報部員の様々な取組が伝わってくる広報紙だった。PTA広報紙は、学校での子ども様やPTA活動を学校に來られない保護者や地域の方にメッセージとして伝える大きな役割を担っている。受賞した広報紙は、広報部員が

色々な角度からの紙面作りには、子どもたちと地域を結ぶ本面に素晴らしい内容のものだった。大分県の広報紙は全国的に高く評価され、昨年度の日本PTA広報紙コンクールでは、2点が入賞した。今年も小学校6校・中学校4校の広報紙を日本PTAに送る。今後とも家庭や地域の教育力を伝え、魅力あるPTAの活動情報を発信してい

年間テーマで 親離れの一步を応援

県知事賞受賞の佐伯市立鶴谷中学校育友会西條智子29年度広報委員長は「広報委員全員が広報紙制作に参加できるように努めた。保護者が何を知らたいのか、子どもの将来をどう考えているのか等、親として今知りたい情報を委員から拾い上げて深めてきた。先生や多方面からの意見も聞き、記事にまとめることができた。お母さんたちの興味が写真だけに頼らず、記事で表現したが、知らなかったところをピンポイントで知れた」と保護者の反応が良かったことと受賞に至るまでの広報活動を笑顔で振り返った。



受賞式後の晴れやかな笑顔
広報委員長(右)と副委員長(左)



来賓・受賞校の代表者らが集まった会場の様子

PTA新聞の「らしさ」伝える

来賓紹介の後、応募の新聞について、審査委員3名が、それぞれ講評を行った。石井圭一郎審査委員は「いつもこのコンクールで思うが、PTAの課題を正しく捉えている。受賞校の新聞は、年間を通してテーマがしっかり定められており、それに対する児童生徒の状況や保護者の考えについて調査されている。また、その結果をきちんと皆様に返しているところが素晴らしい。状況に応じて家庭やPTA、学校全体でどのような方針で子どもたちに対応すれば良いのか、そういうところがよく見え、それがPTA新聞の「らしさ」だと思う。前任者から継承されているこの取組を是非、また繋げていただきたい」と評した。佐藤由美子審査委員は「工夫されたレイアウトに感心し、紙面の裏側にあるような場面を想像して、大変感動した。学校の教育活動への協力や、学校をさらに引っ張っていく意識でPTA活動をして

の充実が図られることを期待している。教育行政を推進する上でも家庭・学校・地域を結びつけるPTAとの連携は益々重要となる。本県教育の充実と発展のため、ご理解とご支援を」と祝辞を述べた。

審査員

(敬称略)

- 岩尾 淳一 (委員長) 大分県PTA連合会「はぐく美」顧問
- 佐藤 一郎 大分合同新聞社編集局整理部部長
- 佐藤由美子 大分市立鶴崎小学校校長
- 石井圭一郎 大分県教育庁社会教育課主任 社会教育主事兼課長補佐(総括)
- 正田 啓二 大分県PTA連合会会長



真剣な眼差しで審査

お知らせ

☆第41回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版

1冊800円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県P連事務局までお申し込み下さい。県内の各小・中・特別支援学校には都市P連を通して1冊贈呈します。大分県PTA連合会事務局 ☎(097) 556-9055



隠し玉を持ち それを引き継ぐ

最後に岩尾淳一審査委員長が30年前の实话を交えて講評。「今、審査員の方々が言われた事、本当に広報紙作りの神髄だと思う。県知事賞を持ち、長い間続いている伝統的な非常に強力な隠し玉を持って、これはこそこのPTAの新聞だ」と分る。また、求められるのはPTA主体の新聞。運動会・修学旅行を載せるなどという事ではない。PTA側から見た運動会・修学旅行を載せる。親として家庭から見れば、集団生活の中で育てて欲しいものがあるはず。そういうものを捉えたらどうか。これから皆さんに目指して欲しい事は、自校らしい隠し玉を持ち、後輩の方々に繋げる事。コンクールでの点数の差は1、2点。大分県のレベルが高いその中の大きな決め手は、編集委員の熱気や心意気といった新聞作りに対する取組の姿勢だと思っ

中1、小4の3人の息子がおり、気がつけばPTA歴8年。役員も5年目になりました。その中、他の子どもたちにも接する度成長度合いをふぶさ感じる事ができました。次のクラスは小学校低学年時にどちらかと言えは大変手がかかるクラスで、その過程において特に先生方にはお世話になることが多かったと思えます。親の心配は尽きませんでしたが、小6の運動会では下級生のお世話をしっかりこなす、彼らがいきました。そして、卒業の日。子どもたち(卒業生)を扶む向こうに、5年時の担任だった先生が淡々と式を進行していました。式も終わりが近づくと、子どもたちが先生の顔を覗き込んで、泣き顔で退場していきます。様々な生活の中で一つのクラスであったと思いましたが、一人ひとり子どもたちの顔を見て何か感慨深そうな表情を見せました。最初は気丈に振舞っていた先生ですが、その途中から目頭をあくし泣いてたようにも見えました。彼らには先生の姿がどう映っていたかはわかりませんが、でも、私は思いました。彼らに託してあげた隠し玉、彼らに託したと感じる日が必ず来るとは思いません。

私にも様々な恩師に出会い、今の礎を築いてくれた先生方もいました。子どもたちにも将来において自分にとっての「師」と呼べる先生方に多く出会えることを望みます。

豊後高田市PTA連合会 会長 松崎 和弘



第41回 大分県PTA広報紙コンクール 112点の応募 力作揃い



会場内で優秀広報紙縮刷版に見入る受賞者

になり、6年生の娘が掛けてくれた事だとわかった。何を意味しているか。一人ひとり、子どもが親の新聞作りをどういう風に見ているか、家族の支援という事にまで及ぶ。部員同士にも伝わる。隠

し玉にはそういう目に見える隠し玉もあるという事をわかってほしい」と述べた。

参画意識を高める 難しいテーマに挑戦

県PTA連会長賞受賞の大分市立南大分小学校P

小原容子29年度広報部長は「県PTA連の1年次指定研究校として2年次の発表の資料になるような広報紙を目指した。昨今の事情から『PTAとは何か』という難しいテーマを単一の広報紙で扱っていいのか葛藤もあったが、P会員の好意的な反響と今回の受賞に苦勞が報われる思い」と笑顔で語った。式後は、記念撮影を行う姿が見られた。

第41回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

県知事賞 「夢つるや」 鶴谷中(佐伯市)	県中学校長会長賞 「はくさん」 坂ノ市中(大分市)
県PTA連合会長賞 「はつせ」 南大分小(大分市) 「ひしの花」 金池小(大分市)	大分合同新聞社賞 「ほうふ」 豊府小(大分市) 「だのはる」 大分大学教育学部附属小(大分市) 「さいき城南」 佐伯城南中(佐伯市)
県議会議長賞 「とおち台」 渡町台小(佐伯市)	OBS賞 「にしんし」 大在西小(大分市)
県教育長賞 「新風」 賀来小中(大分市) 「広報たかせ」 高瀬小(日田市)	TOSテレビ大分賞 「きずなPRESS」 中部中(別府市)
県小学校長会長賞 「滝尾つ子」 滝尾小(大分市)	OAB賞 「かきの」 野津原中(大分市) 大分ケーブルテレコム賞 「しきど」 敷戸小(大分市)

優良賞(順不同)

東中津中	津留小	東植田小	大戸吉	東次野中	中中	植田光	西東岡	中小小
鶴見郡	明治北	田尻尾	大戸吉	野中	中	光	岡	小
下森	岡	滝尾	種	中		南	部	中

平成30年度 県P連幹部研修会

連携・向上・進化を 活動のキーワードに

6月15日(金)、県P連幹部研修会が、県内16郡市等から約60名が出席し、大分市コンパルホールで開催された。理事会、各専門部会、合同研修会が行われ実りある一日となった。

情報を共有し 活動に活かす

本会は、県内16郡市等の県P連理事・母親代表・事務局長ら幹部が一堂に会し、年に一回開催。全体の意思統一を図るとともに、リーダーとしての意識を高め合い、連帯感を持って活動していくことを目的としている。

理事会では、日P・九Pの経過を報告。続いて定期総会などの県P連各種行事について反省点や活動計画が示された。また、個人情報保護法の改正を受け、日Pで取組が始まった「団体個人情報漏えい補償制度」の推進について説明。それぞれの懸案事項について意見交換を行い、共通理解を深めた。



研修に参加した各郡市等P連の幹部たち

専門部会では、今年度、各部が取り組む県P連の主要事業について確認、協議を行い

さらに充実した活動になるよう意見を交わした。各専門部の主な協議内容は次のとおり。

- ・【教育部会】
県P連研究大会の運営について
- ・【研修部会】
全単位PTA会長研修会開催要項について
指定研究発表の審査方法
- ・【母親部会】
三行詩審査について
県P補償制度の加入促進にむけて

現代社会に 対応できる知識を

合同研修会では、ハイパーネットワーク社会研究所副所長渡辺律子氏と県教育庁社会教育課社会教育主事野野一氏による講演が行われた。

情報モラルと 大人の役割



心と体の成長に合わせたネット利用を：渡辺氏

子どもたちがよく利用する動画視聴や情報発信、友だちとの交流アプリを使った人権侵犯事件が年々増加している。その多くはネットの特徴の認識不足が原因。日頃からインターネットは公共の場であること、自分や他人を大事にしたアプリの使い方を話し合う必要がある。また、トラブルが起きた場合、一人で悩みを抱える子どももいる。解決には、保護者が子どものネット利用の美態を把握し、子どもとともに機器やアプリを便利に活用し、使いこなせる知識を身につけることが大切。

改正個人情報保護法 PTA活動との 関連とその留意点



文書作成のポイントをアドバイス：中野氏

今回の改正で5000件以下の個人情報扱う団体等が対象となりPTAも適用される。名簿を作る時など個人情報取得する際には「利用目的を伝える」目的以外には使わないことを明記・同意を本人から得る」など条項に記載された点を相手に明確に伝えることが大事。個人情報保護法は「教えないでいい」ではない。情報を守る同時に提供する側も扱う側も安心できる状況を整える法律。情報を有効に活用し活動に役立てていくために取扱いの保護方針など会員に知らせることが大切。

「保護者心得六箇条」の活用を

保護者心得六箇条

- 一、大人が示そう あいさつの手本
- 二、子どもと遊び ふれあい 伝える愛情
- 三、学校とともに深める 信頼の絆
- 四、地域と見守り はくむ郷育
- 五、みんながついでい できる事を できる時に
- 六、PTA活動を通して 楽しもう 子育て

私たちの願いは、子どもたちが輝く笑顔で学校生活を送ることです。それを具体的に進めるために、県P連では「保護者心得六箇条」を策定。小・中学校の新入生保護者に配布しています。内容を一新したこの六箇条を、ご家庭で、ぜひ活用してください。

今月のレシピ 赤紫蘇ジュース

- 材料**
- 赤紫蘇 1袋(300g)
 - 水 1200cc
 - 砂糖 300g
 - 酢(種類はなんでもOK) ... 300cc

- お家にある調味料を覚えやすい分量で赤紫蘇と砂糖と酢の分量は1:1:1
- 飲む時は、水や炭酸水で2倍に薄めて。はちみつを加え好みの甘さにしても。

日本の蒸し暑い夏にはシンプルな味がよく似合う。素材の味をいかした、どこか懐かしい味。涼風とともに、さあ召し上がれ。



作り方

- 1 赤紫蘇の葉のみをよく洗い、鍋に水とともに入れる。沸騰したら中火で10~15分程ゆでる。
- 2 赤紫蘇の葉を取り出す。紫蘇から出た水分は鍋に戻す。 ※残った赤紫蘇の葉は別レシピで再利用しよう。
- 3 煮汁をこす。 ※ざるにキッチンペーパーを敷き、アクやかすを除く。
- 4 こした煮汁に砂糖を加え、中火で10分程煮詰める。
- 5 粗熱をとり、酢を加える。冷めたら別容器に移して冷蔵庫で保存する。



酢を加えると鮮やかな赤紫色へ変化

学校紹介

平成29・30年度
大分県PTA連合会
指定研究発表校

竹田市立 都野中学校

開催日 11月11日(日)

都野中学校は、久住高原で有名な竹田市久住町にあります。春には野焼き、夏には避暑地として、秋には紅葉で、多くの方々が県内外を問わずお越しになります。また久住山、大船山をはじめ、くじゅう連山の雄大な山々の麓に位置し、おいしい水とあたたかい温泉で癒やされる場所でもあります。

生徒数は22名と少ない人数ですが、先生、父母、地域の方々が三位一体となり、生徒たちの元気な活動を見守っています。秋の運動会では、今では珍しく都野小学校との合同運動会が開催されます。小学校との合同ということで、生徒はもちろん、親、兄弟、先生、地域の方も大いに盛り上がりがあります。

校訓は、「自主・自立」。生徒一人ひとりが学ぶ楽しさや人と心が通じる楽しさ、鍛える楽しさを創造するために、挑戦・工夫を自ら仕掛けていく学校を目指しています。

宇佐市立 四日市北小学校

開催日 11月18日(日)

本校は県下最大の穀倉地帯である宇佐平野のほぼ中央に位置する、門前町・四日市にあります。九州御坊と呼ばれる東・西本願寺別院や元禄年間に関西郡代の陣屋も置かれた歴史文化豊かな地域でもあります。

本校のシンボルでもある、スズカケとクスノキの巨木に見守られる子・心を磨く子・体を鍛え励む子・ふるさと四日市を誇りに思う子」を合言葉に日々の学習や、5色のレンジャー部隊が活躍するユニークな児童会の取組に励んでいます。

PTA活動では、発表に向けて「生き抜く力をはぐくもう！家庭・学校・地域でつなぐ・つなげる北小の輪」を研究テーマに掲げ、教職員・保護者・地域の連携の輪をより太くするために、様々な活動に取り組んでいるところです。

大分市立 南大分小学校

開催日 11月23日(金)

本校は、大分市の中心部よりやや南に位置し、校区にはJR線や国道が通っており、大分県立病院をはじめ、多くの医療機関や大型商業施設、昔ながらの小売店、住宅等が集中しています。しかし、大通りから一歩中に入ると、田畑があり神社や寺院なども見られます。また古くから伝わるお祭りや行事もたくさん残っている地域です。本校は本年度143年目を迎えます。全校児童733名で地域とのつながりや文化・伝統を大切にしながら、自分を大切に、人を思いやる心を育む「友愛の教育」に取り組んでいます。PTA活動は、一人一役として全会員に活動の協力をお願いして取り組んでいます。指定研究をよい機会と捉えて、これまでの活動を見直し、PTA活動に対する意識改革に力を入れています。子どもたちのために会員同士が楽しくつながり、やりがいを感じることができるとPTA活動を目指しています。

指定研究は、県P連の特色ある事業。指定を受けた県内の3単P(大分市、県南、県北から各1単P)は、2年間にわたり特色あるPTA活動に取り組み、2年次に公開発表する。(今年度の発表内容は、はぐく美333号で紹介する)



陽だまりの詩

やさしい光の子どもたちはもつと、もつと、大きく強いやさしさが欲しくなり、陽だまりをつくりました。わずかな隙間を見つけては温もりを詰め込んだ陽だまりをみんなで作りました。弱々しい冬の中で、子どもたちは、温もりに頼っている人たちのために、懸命に働き続けていました。陽だまりの温もりに包まれていると、苦しかった思い出は、積もった雪が溶けていくように消え去り、みずみずしい気持ちにさせられます。子どもとの結びつきが危うくなりかけている母親を前に、陽だまりの子どもたちは、頭をかかえています。

「大人になるか、なれないか」の分かれ道に追いこまれ戸惑い真つただ中の娘。「つかず、離れず」という娘との距離感に心を砕く母親。親という陽だまりに居て、なにくれとなく面倒を見てくれていた親との心のいとまがい。それが必然的なものだけに浮遊してしまいます。光の子どもたちは、閉ざされた心をいとおしみ、温もりのあたたかさを贈りました。光の子どものメッセージ「あなたの子に伝えて」「あなたのままでいいのよ遊びにおいでよ」と。

一面コラム欄は引き続き「ときめき」です

筆者紹介

- 元大分市立荏隈小学校校長 小野 京子
- 大分大学教育学部 附属中学校学校評議員
- 俳人協会会員 「ときめき」
- 著書 「いやしの百句」他

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。

- 小原容子(編集長)
- 田中留理子 石井昌子(新)
- 梶谷寿美(新)
- 岩尾淳一(はぐく美顧問/チョコットコーナー担当)

*はぐく美編集委員を募集しています。詳細は左記事務局までお問い合わせください。大分県PTA連合会事務局 (097)556-9055

編集後記

▼4年かけて小惑星に到着しようとする探査機。報道では事実のみを伝える。言葉はなくても期待を背負い過酷な環境に挑み続けるはやぶさ2から伝わることは多い。(O)
▼あるPTA役員が集まりで「はぐく美編集委員の募集案内」を行った。遠慮気味に「はぐく美って何?」。読んでもらう努力を惜しまずに「はぐく美らしさ」は継承していく。(T)
▼30年来の友人から嬉しい結婚の報告。幸せのお裾分けか、未踏の地である徳島県に縁が。友人や子を通し世界が広がっていく喜び。さあ鳴門海峡の渦潮見物へ。(I)
▼中学校に入学した息子と、はぐく美に仲間入りした私。どちらも慣れるまで、悪戦苦闘の日々。「頑張り1年生」互いに笑顔で、にっこりエールを送り合う。(K)

平成29年度

日本PTA国内研修事業

沖縄県・渡嘉敷島 3月27日~31日

日出让立大神中学校

2年 志谷 颯太

僕はこの研修で、二つの事を学びました。

一つ目は「平和」です。渡嘉敷島で起きた三百人を超える犠牲者が出た集団自決のことを語り手の方から聞いた時に、とても悲しい気持ちになりました。また「平和」とはどのような時に言える言葉なのかという事も語り手の方の話から学びました。

二つ目は、仲間との絆です。初めて出会った時は、不安と緊張感でいっぱいでした。で



出会いも学びのひとつ

も、互いに声をかけ合ったり、交流や作業して、くうちにだんだんと友情が芽生えてきました。

僕は、今まで自分から友達をつくるという場面がありませんでした。今回の研修で本当の強い絆を感じる事ができました。僕は、今回の研修で学んだ事や仲間との絆をこれからも

渡嘉敷島で学んだこと

大切にしていきたいです。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

別府市立中部中学校

2年 大塚 玲奈

私はこの研修で特に印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、沖縄であった戦争についてです。実際に集団自決があった場所に行ったり、直接体験者から話を聞くなど、どれも貴重な体験ばかりでした。沖縄であった戦争が忘れられていく今、これを聞いた私たちが

伝える責任があると思います。今回の研修で学んだ事や仲間との絆をこれからも大切にしていきたいです。

私は今回この研修に参加して本当に良かったと思います。ここで学んだ事、体験した事を大切にしていきたいです。沖縄研修に携わったみなさまに感謝の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございました。

仲間と過ごす貴重な時間 (学校・学年はH29当時)

平成30年度 大分県PTA連合会 学生・子ども総合保険のご案内

特別加入 受付中

	8月1日加入	9月1日加入	10月1日加入
募集期間	7月1日~7月25日	8月1日~8月24日	9月1日~9月25日
補償開始	8月1日午後4時	9月1日午後4時	10月1日午後4時
補償終了	平成31年4月1日午後4時		

※詳細は大分県PTA連合会ホームページをご覧ください

大分県PTA連合会補償制度

専用の払込取扱票をPTAより取り寄せ、保険料をはぐく美保険サービスにお問合せください。

はぐく美保険サービス株式会社 大分市大字下郡 496-38 TEL.097-535-7051

MS大分中央株式会社 大分市寿町 11番 22号 TEL.097-538-8880

0120-56-8993 (受付時間:月~金 9:00~17:00)

24時間365日事故受付サービス 「三井住友海上事故受付センター」

0120-258-189 (事故受付センター)



www.ms-ins.com